

東邦大学学術リポジトリ

Toho University Academic Repository

タイトル	出生前スクリーニング受検のインフォームドチョイスのための妊婦に必要な知識に関する研究
作成者（著者）	原田, 奈美
公開者	FD委員会 健康科学ジャーナル編集会(東邦大学健康科学部)
発行日	2022.03.31
ISSN	24343838
掲載情報	東邦大学健康科学ジャーナル. 5. p.33 33.
資料種別	学術雑誌論文
内容記述	特別研究助成報告
著者版フラグ	publisher
JaLCDOI	info:doi/10.14994/tohohsj.5.33
メタデータのURL	https://mylibrary.toho u.ac.jp/webopac/TD42088003

出生前スクリーニング受検のインフォームドチョイスのための 妊婦に必要な知識に関する研究

原田 奈美

I. 緒言

出生前スクリーニング受検のインフォームドチョイスのためには、正しい知識をもとに、その人の価値観に合った意思決定をする必要がある。そのためには適切な情報が提供され、妊婦は正しい知識を持つことが求められる。しかし出生前スクリーニング受検のために提供される情報は国や地域、施設によって異なっている。また情報提供の重要性が指摘されながらも、その内容や在り方について検討の余地がある。そのため、文献検討を通じて出生前スクリーニングの受検の選択に際して提供されるべき情報について体系化することを本研究の目的とする。

II. 研究方法

主に電子文献データベースを用いてスコープングレビューを行う。採択基準は、英語又は日本語で書かれた文書、医療者が提供すべき情報に関する内容、妊婦の情報提供ニーズに関する内容、妊婦の出生前スクリーニングに関する知識を評価に含む実験研究、妊婦のインフォームドチョイス等の評価で用いられた知識、公的機関や学会によるガイドライン、指針、提言を含む、とする。

III. 結果

データベースを用いた検索からは1,999本の文献と、さらにハンドサーチによる12本で合計2,011本の文献を収集した。1次スクリーニングでは、タイトルとアブストラクトから1,889本が除外され、その後重複が除外されて83本が2次スクリーニング対象となった。それらの本文を精読し、知識に言及がない又は詳細な記載がない、英語又は日本語以外の言語、使用された知識設問の掲載がない、本文が入手できないと

いった理由で38本が除外された。最終的に、41本が採択された。最も多かったのはアメリカの8本で、次いでイギリスの7本であった。尚、出版の年代は、1992年から2018年までであった。

IV. 考察

収集段階までの気付きとして、Gray Literature入手の難しさと、一方でインターネット上での情報の多さといった困難があった。また文献内では、遺伝カウンセリングとそれ以外の面談や情報提供の違いが明確になっていないことが多く、遺伝カウンセリングという特殊なケースで必要な情報と一般妊婦に必要な知識の区別が難しかった。他に、時代や国によって提供されるスクリーニング検査の種類や順位制、保険の扱いといったシステムの違いがあり、それらは提供する情報として統一することは出来ないと考えた。最後に、必要とする情報は、妊婦の置かれた状況や背景、信条や価値観によって異なることが前提であり。それを踏まえたうえでどのような情報を提供すべきか考えていかなければならない。